

実りの秋を求めて

先月には中秋の名月、美しい満月を我が家の窓から眺めながら里芋の煮付けで一杯、「日本人に生まれてよかった～」と思う瞬間がありました。

日中は残暑が残るものの夜明けが遅く夕暮れは早くなりました。虫の声がよく聞こえるようになりました。プランターの花にも若干の生気が戻り花数も増えたように感じています。

スポーツや文化に子供たちの活躍の場がたくさんある季節です。多くの子供たちに実りの秋を迎えてもらいたいものです。

鶴城中学校ボランティア読み聞かせが始まりました



先月から鶴城中学校の読み聞かせが始まりました。この読み聞かせは、鶴城中学校区内から読み聞かせボランティアを募集して活動を開始します。今年度は延べ13名のボランティアの

方々に支援いただくことができました。9月から来年2月までの6か月間、月に1度、計6回の読み聞かせとなります。対象は1年生7クラスです。ボランティアのほとんどが絵本を用意されていますが、中学生がその絵本を食い入るように覗き込み真剣に聴いている姿が何ともほほえましく見えます。

この取組は、単なる読み聞かせだけでなく、写真にあるようにクラスの生徒がボランティアを迎えに来るところから始まります。教室までのわずか時間ではありますが、そこに会話が生まれ、生徒とボランティア（地域住民）とのつながりが生まれます。つまり、学校と地域の距離が縮まるのです。読み終えた後も生徒が控室まで読み手の道具等を持って見送ってくれるケースもあります。単なる読み聞かせではなく、学校と地域住民とを結びつける大切な活動となっています。



網津小学校の学習支援ボランティアの取組

網津小学校は、地域とのつながりが非常に強い学校です。学校教育活動への保護者、地域住民の支援がたくさんあり、私もこれまでにトウモロコシの苗植え・収穫、種籾栽培から田植え、稲刈りの様子取材させていただきました。今回は、地域住民による学習支援ボランティアの様子取材させていただきました。この取組は、コロナ感染症の縮小に伴い昨年度から本格的に再開されました。

現在、10名ほどの方が学習支援ボランティアとして登録されています。写真にあるように毎日2～4校時の授業で児童に寄り添い、支援をされています。

主に1年生の授業を支援されています。子供たちもボランティアの方とはすっかり顔馴染みで自ら自席へ導く姿を見受けました。学校からすると子供たちが落ち着いて授業に参加できる、ボランティアの方にとっては子供たちの成長を間近に観ることができる、双方向からメリットがある活動となっています。

